

Climbing Victory Mountain

みなさん、Happy Valentine's Day! アメリカでは2月14日は、バレンタインデー(2月14日)が一番大きなイベントのひとつです。スーパーストール(デパート)では、目が痛くなるほどの赤やピンクのハートマークで飾られ、チョコの箱、バラ、ぬいぐるみ、カードなどの商品が店頭にはびこります。アメリカではバレンタインデーにはおもに恋人や夫婦がお互いにチョコプレートやプレゼントを贈る日ですが、恋人がいなくても男女お互いに贈り合います。私は女性が一方的に男性にチョコプレートを送るといって日本のバレンタインデーの習慣に戸惑いを感じます。

どうして女性から男性にチョコプレートを送る習慣ができたのか調べてみたところ、この習慣は日本で始められ、日本・韓国特有の習慣だと分かりました。一説によると、慎み深く、温和だと一般的に思われる日本人女性が好きな人に自分の素直な気持ちを伝えるきっかけをあたえようと、日本の製菓業界によって始めら



愛のまち、勝山

勝山市国際交流員

デビッド・テイアー

欧米のように、男女お互いにチョコプレートやプレゼントを贈り合った方が、バレンタインデーをより楽しむのではないのでしょうか。女性もチョコプレートをもらえる期待感もてるし、クリスマスで恋が芽生えなかつた男性も敗者復活戦のような感じで、またアタックできるきっかけが与えられます。日本のバレンタインデーの習慣を変えれば、実る恋、強まる恋はきっと増えることでしょう。長年伝わる習慣を変えることは決して簡単なことではありません。しかし、少子化、晩婚化・非婚化といった日本が直面する問題を解くカギは、より愛はぐくむ社会をつくることにあるのではないのでしょうか。男性諸君！今年のバレンタインデーは、勇気を出して、気になるあの人にチョコプレートを渡しなさい！



国保年金だより

所得の申告を忘れずに!

所得の申告をしないままですと、医療保険制度上でもいろいろ不利益を受けることになります。

必ず申告をしましょう。

1. 70歳以上のかたへ

70歳以上のかたの医療機関での自己負担金などの割合は原則1割ですが、所得に応じて「一定以上所得者(※)」は2割となっています。平成18年10月以降、高齢者医療制度が改革され、一定以上所得者の負担割合は2割から3割へ変更になる予定です。

申告の仕方によっては、負担割合が1割から3割になってしまうことも予想されます。忘れずに所得の申告をしましょう。

(※)一定以上所得者とは

課税所得(各種控除後)が145万円以上の70歳以上のかた、および同じ世帯で70歳以上のかた。ただし、その世帯の該当者の年収が621万円未満(該当者が1人の世帯は484万円未満)の場合は、窓口へ申請すれば1割負担になります。(年収額は平成18年8月以降変更あり)

2. 非課税世帯に該当しませんか

市県民税非課税世帯に該当すると、入院したときの食事代(標準負担額)が減額されたり、医療機関での自己負担金が安くなったり(70歳以上のかた)します。申告をしないと該当しない場合もありますので、所得の申告を行ってください。

医療制度に関するお問い合わせ先

市民生活課 国保年金グループ (☎内線257・258)

安全で災害に強い地域づくりを目指して!

このたび、(財)日本消防協会の平成17年度「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」で、「初期消火活動用D-1級軽可搬式ポンプ」一式と、「防火広報活動用液晶プロジェクター」一式が宝くじ助成金によって整備されました。

今後は、地域防災と広報活動に広く活用していきます。

☎ 消防署 (☎88-0400)



軽可搬式ポンプ



液晶プロジェクター一式

仲間 GROUP



やったぞ! 9人の力で勝ち取った優勝

村岡小学校スーパードッジチーム「ハイパードットコムズ」

県内各地から小学生122チームが出場した第14回県ふれあいスーパードッジ大会が、1月14日、福井県営体育館で開催され、Aクラス(低学年の部)に出場した村岡小学校3年生のチーム「ハイパードットコムズ」(キャプテン:山田巧さん)がみごと優勝に輝きました。

「ハイパードットコムズ」の名前の由来は、チームの中に兄弟選手がいて、そのお家では営まれているお店の名前「ドットコム」をチーム名にして昨年

出場し、今年はそれを上回るチームでありたいという思いを込めて、チーム名の頭に「ハイパー」をつけたとのこと。

12月から練習を開始しましたが、師走の大雪のため、本格的な練習ができたのは1月に入ってから3回程度でした。大会では、練習で鍛え

がんばれ元気



空手で元気に

和田美奈子さん(9)
和田万里奈さん(7)
村岡町浄土寺

新格闘術連盟直轄支部空手道吉塚道場勝山支部に所属する和田さん姉妹は、同道場に所属するご両親から、「いっしょにやろうか」との声かけで空手を始めました。同道場では、1月29日の年の日の日に、道場のみんなで神明神社を訪れ、安全と活躍を祈願し、その後、神社境内で、寒い中、空手着を着て裸足で奉納稽古をしました。和田さん姉妹も、顔や手足を赤くしながら、寒さに負けずに、一所懸命稽古に励みました。

寒稽古に参加して、美奈子さんは「去年より気持ちに力が入り、技が上達したと思います」、また万里奈さんは「足が冷たかったけど、元気いっぱいやれてよかったです」との感想でした。

「空手を始めてから、あまり風邪もひかず、毎日元気で過ごすことができるようになりました」と答える美奈子さんの横で、妹の万里奈さんは「今風邪をひいてるけど、辛くありません。これからも元気をつけるために空手を続けたいです」と元気よく答えてくれました。

出会い ふれあい

たパスまわして相手チームの体制をくずし勝利を重ねました。監督を務めた同校教師の廣田大吾さんは、試合を振り返り「試合のたびに上手になっていくのが分かった。勝ちたいという気持ちが強かったのが、結

果に表れたと思う。決勝戦では、これまでの試合と違いチームで励まし合っていた。みんな、よくがんばった」と感想を述べました。優勝が決まったときには、選手みんなが監督のところへかけ寄り、選手の中にはうれし涙を流す選手もいたそうです。「来年は、高学年のクラスへの出場となるので、強いチームの良いところを吸収し、さらにレベルアップをしていきたい」とチームの来年に向けた抱負を聞かせていただきました。